

(3) ボランティア参加者の横顔

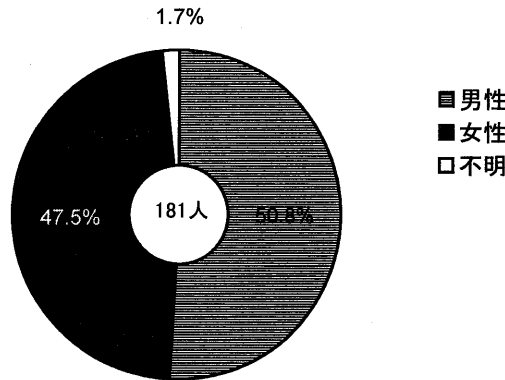
今回の調査では、7つの事例調査対象のボランティア参加者に対して、参加の動機や活動状況、満足度や要望等に関するアンケート調査を実施した。それによるとボランティア参加者の横顔は次のとおりとなっている。なお、このアンケート調査は、7施設のボランティア約180名を対象にしたもので、必ずしも、公共ホール・劇場のボランティア全体の傾向を示すものではないことを断っておきたい。

①性別・年齢

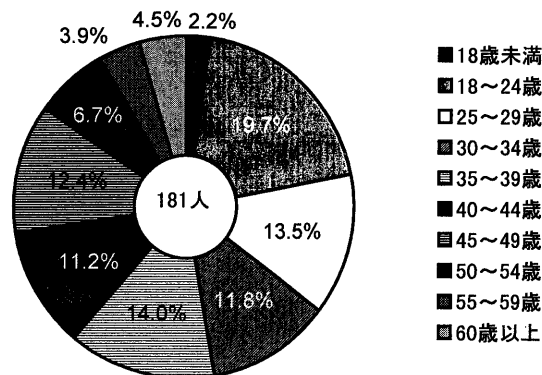
ボランティア参加者の男女比はほぼ半々。年齢構成をみると、18～24歳が19%、25～29歳が13%と30歳未満の割合が全体の3分の1を占めているが、一方では45歳以上の人も全体の4分の1以上を占めており、幅広い年齢層にわたってボランティア活動に参加していることがわかる(図表 I-6,7)。

美術館におけるボランティアは、女性が91%を、また40歳代から60歳代が83%をそれぞれ占めている\*1ことと比較すると、公共ホール・劇場におけるボランティアは、性別、年齢とも幅広い層の人々が参加していることがわかる。

■ 図表 I-7 ボランティアの性別



■ 図表 I-8 ボランティアの年齢



\*1 文化行政とボランティアに関する調査報告書 | 東京都生活文化局 | 1994年5月

## ② 職業

一方職業については、「会社員・公務員・教員・団体職員」が50.8%とほぼ半数を占めており、「自営業・自由業」の18.8%、「パート」の3.9%を含めると、4人に3人が有職者になっている。

美術館のボランティアでは有職者率が27%、無職が69%となっていたことと比較して(前掲調査)、公共ホールや劇場では、職業の点でも幅広い層の人々がボランティアとして活躍していることがわかる。

■ 図表 I -9 ボランティアの職業

